

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2009.2.5 No. 34 連絡先 042-555-1911



米軍横田基地で事務所火災、3,600㎡焼く …1月20日午後6時30分頃に出火…

横田基地内で火災がありました。様々な報道から、要約してお知らせします。

◎火災は、1月20日(火)午後6時30分頃、国防財務会計日本事務所の建物で発生した。国防財務会計事務所は、日米約120人の職員が働いている。西太平洋地域の米軍の給与支払い業務を行っているとのこと。

◎建物は、木造平屋建て、建物面積は約3,600㎡。建設年度は1948年(昭和23年)で、国道16号線沿いの第2ゲートから北東約400メートルに位置している。

◎午後8時過ぎ、米軍の応援要請に基づき、東京消防庁から消防車5台、はしご車2台、指揮車1台と38名の消防隊員が地元消防署から出動し、横田基地の30名の消防隊員と8台の車両とともに消火を行ったが、建物は全焼した。

◎怪我人の情報は無い。出火原因は調査中だが、事件の可能性を示す証拠はないとのこと。

◎火事は朝まで燃え続けた。13時間燃え続けた、の報道もある。

*火災場所は、航空自衛隊航空総隊司令部の関連施設【隊舎、浴場、外来宿舎、隊員クラブ用地】付近のようです。(火災現場の図面は福生市議会議員にファックスされた図の一部)



都と周辺市町連絡協議会が、第374空輸航空団司令官や北関東防衛局長に要請

横田基地内での火災に関し、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は、2009年1月23日、在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官・ジョン F. ニューエル大佐や、北関東防衛局長 鎌田 昭良氏、横田防衛事務所長 関 壽夫 氏あてに要請をおこなっています。

横田基地内での火災事故に関する要請について

平成21年1月20日、北関東防衛局から、同日午後6時30分頃、横田基地内の国防財務会計事務所火災が発生したとの連絡を受けました。この火災では、幸いにも基地関係者から負傷者を出すことはなく、基地外への延焼はまぬがれ、近隣住民への直接の影響はありませんでした。しかし、この火災は平屋建ての建物約3,600㎡が全焼する大規模な火災事故であり、弾薬庫などの施設もある基地内での火災は、近隣住民に大きな不安を与えるものです。また、基地周辺には人口が密集した市街地があり、延焼すれば人命に関わる惨事につながりかねません。

こうした事故が発生するという事態は、極めて遺憾なことです。貴職におかれましては、このような状況を十分認識され、下記のとおり対応するよう要請します。

記

- 1 今回のような近隣住民に影響を及ぼす事故や事件が発生した場合は、ただちにその事実について、第一報の情報提供を行うこと。また、その後の状況についても、逐次、迅速かつ正確な情報提供を行うこと。
- 2 今回の火災事故について徹底した原因究明を行い、再発防止のための対策を講じ、速やかに関係自治体に説明すること。



横田基地火災後、福生の公園の池等で魚が浮上死！

福生市は、下の川で魚が浮上した件についての経緯と、「水質検査などの結果から、人体への健康被害の心配はありませんのでご安心ください。」とのお知らせを、2009年1月30日、ホームページに掲載しました。写真は、せせらぎ遊歩道公園の池(2/2撮影)と、浮上死した鯉(福生市提供)。以下、市発表の経緯と、水質検査結果です。



経緯

【1月21日(水)】午前8時30分、住民の方から福生市福祉センター前の「下の川せせらぎ遊歩道公園」内の池で鯉などの魚が浮上しているとの通報を受けました。市は、同公園の池からの水路及び下の川全域の水が泡まじりの黒色に濁り、焼却臭を放っており、数百匹の魚が死んでいる状況を確認し、専門機関に水質検査を依頼しました。汚染が心配されたので、住民の安全を第一に考え、「下の川せせらぎ遊歩道公園」への下の川からの通水を停止。南公園吐口の溜まりへは、柵を設置し、立ち入りを禁止しました。

【1月22日(木)】午前8時30分、下の川対策会議で対応策を検討。市内全小中学校に対して児童生徒が汚染の心配される区域に立ち入らないように指示。

【1月23日(金)から30日(金)】1月27日(火)までに採取した調査結果に基づき30日(金)の対策会議で安全であることを確認し、下の川からの通水を開始しました。

水質調査結果

開渠(上部にふたのない水路)については、環境基準に該当する全ての検査項目で基準値以下であり安全です。その他にも、環境基準にはない、炭素を含む濁りなどを示すTOC(有機体炭素)とリンの数値が高い状況にありますが、人体には影響がないと判断しました。

原因については、前日の1月20日(火)の夜に発生した横田基地内の火災消火に伴う大量の放水が影響したものと考えています。以下略。(この件についての問い合わせ先・福生市環境課環境係。)

基地の火災、なぜ市民に知らせなかったの！消火の水量は推計8千~1万ト？

3,600㎡の建物が13時間以上も燃え続け全焼する大火災なのに、防災無線での火災のお知らせはありませんでした。20日の午後6時30分頃出火というのに、火災現場である福生市への連絡も1時間30分もたった午後8時を過ぎていたらしい。NHKのニュースで火災を知った人が多かったのです。さらに、翌日には、「横田基地内の火災消火に伴う大量の放水が影響」と思われる大量の魚の浮上死が起きていました。消火活動に使用した水量は非公開(?)なので推計値。

横田基地は治外法権ではありません。私たちは、平和・安全に生きる権利を主張しましょう。

撤去の会が「航空総隊司令部の移転は見直し、中止を！」と要請

1月29日、横田基地の撤去を求める西多摩の会の代表・松山氏、事務局長・崔田氏と事務局・高橋は、さいたま新都心にある北関東防衛局に出向き、「土壌については、国が安全を確認し、地元の理解を得られるまでは、工事は中断すべき。航空自衛隊航空総隊司令部の移転は見直し、中止すべき。」など局長宛の要請文を米川報道官に手渡しました。さらに司令部棟の平面図などの情報開示の手続きをしました。(写真：北関東防衛局があるビルの前で、松山さんと崔田さん)

